

事務事業チェックシート

事務事業No 170 事業名 霊柩自動車運行事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	3	生活衛生対策の推進
取組方針	4	斎場、今福霊園の適切な改修、整備

事業種別	継続		
事業期間	昭和31年～		
事業実施の根拠法令	和歌山市霊きゆう自動車使用条例・同施行規則		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	保険総務課	小倉 昭彦	435-1326
関連課	なし		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		斎場費	
	大・中事業		斎場事業	霊柩自動車運行事業

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 対象者を霊柩自動車利用者とし、利用者の安全確保と低廉な料金による安定的な運行を行う。		全体事業概要 霊柩自動車を1台保有し、出棺場所(市内に限定)から斎場まで運行(往復または片道)して、柩・遺族を搬送する。			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
霊柩自動車を1台保有し、出棺場所(市内に限定)から斎場まで運行(往復又は片道)して、柩・遺族を搬送する。		霊柩自動車を1台保有し、出棺場所(市内に限定)から斎場まで運行(往復又は片道)して、柩・遺族を搬送する。	霊柩自動車を1台保有し、出棺場所(市内に限定)から斎場まで運行(往復又は片道)して、柩・遺族を搬送する。	霊柩自動車を1台保有し、出棺場所(市内に限定)から斎場まで運行(往復又は片道)して、柩・遺族を搬送する。	霊柩自動車を1台保有し、出棺場所(市内に限定)から斎場まで運行(往復又は片道)して、柩・遺族を搬送する。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,641	1,567	1,475	1,447	1,087	605	919		919	
伸び率(%)	-	-	▲10.1%	▲7.7%	▲26.3%	▲58.2%	▲15.5%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	1,129	1,101	1,101	1,186	1,135	1,182	1,182	1,182	1,182
	正規職員以外	171	165	165	178	180	184	184	184	184
	小計	1,300	1,266	1,266	1,364	1,315	1,366	1,366	1,366	1,366
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	329	219	140	196	237	121	196		196	
一般財源(税等)	1,312	1,348	1,335	1,251	850	484	723		723	
所要人数(人)	正規職員	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15		0.15
	正規職員以外	0.09	0.09	0.09	0.10	0.09	0.1	0.1		0.1
主な予算内訳	管理委託料 778千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	整備件数	目標値					
		実績値	5	3	3		
		達成度(%)					
活動指標	運行件数	目標値					
		実績値	19	18	11		
		達成度(%)					
成果指標	事故・故障件数	目標値	0	0	0		
		実績値	0	0	0		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>霊柩自動車運行事業は、出棺先から斎場まで柩及び御遺族を搬送させていただいており、人生最後の葬送儀礼の一環を担う事業として行っているが、最近の利用は減少傾向にある。</p>
見直し・改善内容	<p>平成28年度末を目途として廃止を検討したところですが、結果、利用者が全くゼロではない、登録から20年経過したが、走行距離が5万キロ弱と今しばらく走行可能ではないか、また一部葬儀業者から事業継続を要望する意見もあり、廃止を見送りました。平成29年度以降は委託料見直し、単価契約をし、今しばらく事業を継続、利用者の状況を見ていきます。</p>